

令和8年度
入 学 試 験 問 題

適性I

(第1回午前)



立正大学付属
立正中学校

--	--

氏名

※得点

[illegible]

10

令和八年度 立正大学付属立正中学校入学試験問題 適性Ⅰ (第一回午前)

次の「文章A」・「文章B」を読んで、後の問に答えなさい。(問題の都合上、本文を変えているところがあります。)

文章A

日本では「がんばればなんとかなる」という考え方がいまでも根強くあります。運動が苦手な子どもも嫌いな子どもも、我慢して努力する。努力さえすれば報われるはずだということです。

でも努力してなんとかなるなら、陸上部の部員は全員、国際大会に出場しています。そうならないのは、努力だけでは埋めることのできない素質があるからです。「国際大会に出場できないのは、おまえの努力が足りないからだ」というのは、根拠のない精神論です。

戦後、日本の教育はこうした根拠のない精神論があらとちでまかり通っていました。これは無意味と言わざるを得ません。それよりも、あきらめることの方が大事です。「あきらめる」という語感が良くなければ「現状をリアルに認識し、選択肢がほかになことを確認する」と言い換えてもかまいません。

自分はとうとう強つてもうサイン・ポルトのようににはなれないな。それどころかクラスで一番になるのも難しいだろうな。そうした現状を受け入れれば、順位にこだわるのはやめて楽しみながら続けようとか、陸上じゃなくてもサッカーに挑戦してみようというように、ほかの選択肢が生まれます。

日本の若者の自己肯定感^{（きこうてんかん）}はアメリカやドイツなど6カ国の中で一番低いという調査結果があります。

自己肯定感という言葉の意味をみんなは違えているのではないかと思います。自己肯定感^{（きこうてんかん）}というのは、たくさんの友達に囲まれて、勉強もスポーツもできるから感ぜられるものでもなければ、他人から「すごいね」と称賛されて得られるものでもありません。自己肯定感とは、自分をおろがままに受け入れることです。

なぜ自分は100メートル10秒で走れないのだろうとか、なんで太坂^{（ふたさか）}なおみのようなテニスプレイヤーになれるのやと嘆いていても仕方ありません。自分は足も速くないし、頭も良くない。たいした取り柄^{（とりがら）}もないけれども、こんなふう^{（このふう）}に生まれてしまったんだから、しょうがない。なんとか自分のペースで楽しくやつていくというのが自己肯定感です。これもある種のあきらめでしょう。

日本の若者の自己肯定感が低いのは、「努力すればできる」という根拠のない精神論を振りかざす教育がまかり通っているからではないかと思います。だめなところもあるけれども、ありのままの自分さえええやと受け入れることが自己肯定感への第一歩です。自己肯定感^{（きこうてんかん）}はすべての出発点です。

「最も強い者が生き残るのではなく、最も賢い者が生き延びるのでもない。唯一生き残るのは、変化できる者である」

進化論を提唱した生物学者チャールズ・ロバート・ダーウインの有名な言葉です。

ダーウインは、生物が生き残るために必要なものは「運」と「適応」だけだと言っています。「運」というのは偶然^{（ぐうぜん）}です。「適応」というのは、状況に合わせて変化することです。運は人がコントロールできるものではありません。

たまたま、欄^{（らん）}からはたもちが落ちてきて、おいしい思いをできる人もいれば、頭上から落ちてきた石がぶつかってしまつ人もいます。別に、良い行いをしたからかはたもちが落ちてくるわけではありませんし、不幸にして頭上から石が落ちてきたという人が悪いことをしていたわけでもありません。

運を人間が左右できない以上、あるがままを受け入れて、適応^{（ていおう）}していくしかありません。「どうして自分には、はたもちじゃなくて、石が降ってくるのだ。前世でどんな悪いことをしたというのだ」と恨んでみたところで、どうしようもありません。ありのままの現実を受け入れて、適応できる生物だけが生き残るということです。

フランスの作家ロマン・ロランは、『ミケランジェロの生涯^{（せいぎ）}』（岩波書店）という本の中で、「世界に真の勇氣はただひとつしかない。世界をおろがままに見ることである。そうしてそれを愛することである」という言葉を残しています。

これを読んだとき、ダーウインと同じことを言っているなと思いました。人間は、ありのままの現実を受け入れることしかできないということです。まだ、ストア派哲学も同じように述べています。僕は「あきらめの哲学」と呼んでいますが。

未来を予想することは、誰にもできません。ただ歴史を見れば、どのような時代においても、変化に適応する生物だけが生き残ってきたのです。適応とは、現状をありのままに換え、変化することです。それは言い換えるなら、学び続けるということだと思えます。

(出口秀明著『なぜ学ぶのか』による)

(注) ※1 戦後——終戦後。日本においては一九四五年(昭和二十年)の第二次世界大戦後をさす。

※2 まかり通って——堂々と通用して。

※3 選択肢——選ぶことができる複数の答えや行動の可能性。

※4 ウサイン・ボルト——ジャマイカの元陸上競技短距離選手。一〇〇メートル世界記録保持者。三度のオリンピックで連年八個の金メダルを獲得した。

※5 自己肯定感——ありのままの自分を好意的に受け止めることができる感覚。

※6 称賛——ほめたたえること。

※7 大坂なおみ——女子テニス選手。世界ランキング自己最高位はシングルス一位(男女を通じてアジア国籍の選手初)。

※8 前世——ある人生を起点として、それより前の人生のこと。一般に科学的には認められていない。

※9 ミケランジェロ——イタリアのルネサンス期に活躍した芸術家。西洋美術史のあらゆる分野に大きな影響を与えた。

※10 ストア派哲学——古代ギリシャの哲学者ゼノンによる思想。人間は自然の法則にしたがい、自分の役割をはたすことによって幸せになれると主張した。

文章B

せつかくこの世に生まれたからには、悔いのない人生を送りたい。理想の人生、ほんとうにやり甲斐のあるものを見つけない。それが自分探しの動機でしょう。

そんなことを思うのは、だいたい仕事がつましくないとか、やる気が起らないときです。イケイケのときに自分探しをする人はいません。

自分探しをはじめるとはいつたん立ち止まり、仕事を休んで時間を作る必要があります。かつてはアテもなく海外を放浪するとか、世界中を巡って見聞を広めるとかが流行りましたが、実際につまついたという話はあまり聞かれません。そんなことをして見つけた自分が、日本の現実で役立つとも思えないからです。

そもそも自分探しをする間の生活費はどうするの。親に頼っているようではただの甘ったれだし、自分で働いているならそれがほんとうの自分で、わざわざ探しに行く必要もありません。

「これはほんとうの自分じゃない」とか、「俺はまだ本気を出していただけ」などというのも、高橋君になった私などからすると、自分をこまかしているだけとしか思えません。ほんとうの自分なら、別に探しに行かなくても目の前にあるのがそれで、それを認めないのは現実を受け入れることを拒否しているだけです。モラトリアムというところになります。

ネットでは自分探しの効用や必要性を説くサイトもありますが、よく読むとたいしては自己啓発セミナーや心理学講座に誘導するビジネス絡みです。それで救われる人もいるのかもしれませんが、自分探しをするというとは、今の自分を認めないことでもあるので、新しい自分が見つからなければ、落胆して結局はもとの自分にもどるということになりかねません。

ほんとうの自分を見つけるには、今の自分に打ち込む以外にないでしょう。

(久坂部幸夫『人はどう悩むのか』による)

(注) ※1 動機——何かをするための「きっかけ」や「目的」のこと。

※2 イケイケ——調子に乗って怖いものがない状態。

※3 放浪——さまよい歩くこと。

※4 モラトリアム——期限を延ばしたり、一時的に停止すること。ここでは、「大人になりきれない大人」という意味。

※5 自己啓発セミナーや心理学講座——自身の能力や考え方を高めることを目的とした講義などのイベント。

※6 落胆——期待や希望がかなわず、がっかりすること。

問1 ——線①「世界はあるがままに見ることである。そうしてそれを愛することである」とありますが、これは何をしようということですか。「自己肯定感」という語を必ず使って、四十字以上五十字以内で説明しなさい。(句読点、かぎかっこなどをよくむ)

問2 ——線②「ほんとうの自分」とはどのようなものですか。本文中の言葉を使って、四十字以上五十字以内で説明しなさい。(句読点、かぎかっこなどをよくむ)

問三 文章A・文章Bを読んで、あなたにとって「学ばれたい」のは、どの分野だろうかと照らしてみよう。あなた自身の考えを四

百字以内で書きなさい。(句読点、かなかっこなどは要さずね。)

(書き方のまもり)

- 題名は書かない。
- 最初の行から書き始める。
- 各段落の最初の一字は下げて書く。

令和8年度
入 学 試 験 問 題

適性Ⅱ

(第1回午前)



立正大学付属
立正中学校

1

問1	
問2	
問3	
問4	観光客
	地域の観光課

問5

得点	
----	--

総合得点	
------	--

受験番号	氏名

2

(1)			
(2)			
(3)			
(4)			
(5)			

受験番号	氏 名

得 点

3

問 1	
問 2	
問 3	
問 4	
問 5	

受験番号	氏 名

得 点

令和8年度 立正大学付属立正中学校入学試験問題 適性Ⅱ（第1回午前）

1 次の会話文を読み、問いに答えなさい。

先生：みなさん、こんにちは。今日は、ニュースでもよく聞くオーバーツーリズムについて考えてみましょう！

生徒A：オーバーツーリズムって何ですか？

生徒B：観光地に人がいっぱいいて、困っていることですよね？

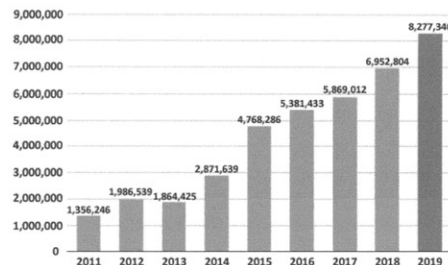
先生：その通り！今、日本に来る外国人旅行者が増えているんだね。どれくらい増えているか、グラフで見てみよう。



生徒A：こんなに増えているんですか！^{おどろ}驚きました！

先生：①増えている理由は何かと思う？ 次のいくつかのグラフを見て考えてみよう！

ビザ発給件数の推移（単位：件）



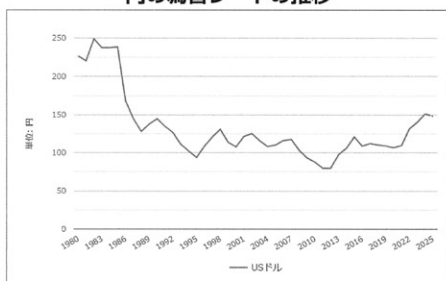
出典：外務省

国別ビザ発給数top10（2018年）（単位：人）

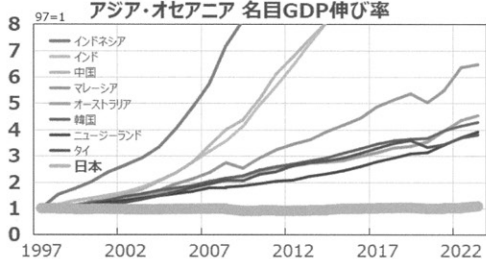
順位	国名	ビザ発給数	順位	国名	ビザ発給数
1位	中国	4,225,832	4位	ベトナム	171,643
2位	フィリピン	275,537	5位	インド	89,183
3位	インドネシア	195,880	6位	ロシア	47,262
			7位	ブラジル	44,676
			8位	大韓民国	23,726
			9位	タイ	21,370
			10位	アメリカ合衆国	20,326

出典：外務省

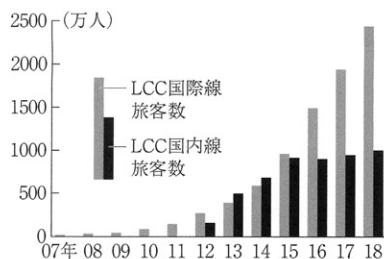
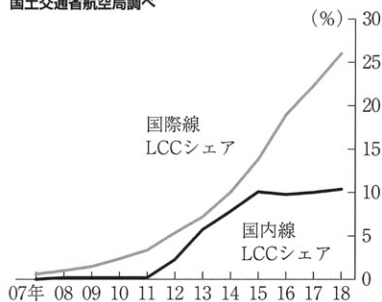
円の為替レートの推移



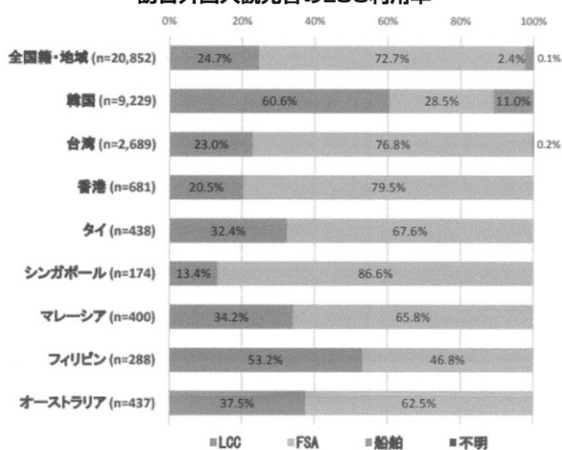
アジア・オセアニア 名目GDP伸び率



国内拠点のLCCの旅客数推移
国土交通省航空局調べ



訪日外国人観光客のLCC利用率



注) 上記グラフではLCC利用率が10%以上の国籍・地域を表示している。
注) 凡例の「LCC(ローコストキャリア)」は格安航空会社、「FSA(フルサービスエアライン)」はLCC以外の航空会社を指す。

生徒B：^{さまざま}様々な理由があると思いますが、私はビザ（入国許可書）発給要件が増えているからだと思います！以前より日本に行きやすくなったんですね！

先生：そうだね、日本に旅行しやすくなった理由の1つだね。どこの国からの来日が1番多くなったと思う？

生徒A：中国です！すごい人数ですね！

先生：でも、観光客が多すぎて困ってしまうケースもあるようだね。②次の写真は京都の様子だよ。このようなこともあり、各地は対策を考えなければならなくなったんだ。対策には、お金がかかることもあり、自治体ではあるものの導入を始めたんだよ。



生徒A：どのようなものですか？

先生：それは③^{しゅくはく}宿泊税の導入だよ。お金がかかることが多くなり、東京都や京都市などで始めているんだ。

生徒B：増えすぎたことで良いこともあれば、困ることもあるんだ。いろいろ調べてみたいと思いました。

問1. 下線部①について、なぜ増えているのですか。文中以外の理由をグラフ・表を参考にして答えなさい。

問2. 下線部②について、京都の写真を見て、どのような問題が起きていますか。あなたの考えを答えなさい。

問3. 下線部③について、宿泊税はどのようなことに使われると考えられますか。あなたの考えを答えなさい。

問4. 今後、オーバーツーリズムでの観光地ではどのようにしたら良いと思いますか。観光客、地域の観光課それぞれの視点から答えなさい。

問5. 人気のない観光地に観光客を呼ぶにはどのようにしたら良いと思いますか。あなたの考えを答えなさい。

- ② 次の会話は、生徒のユウタさんとリョウコさんが、理科の授業中に先生と一緒に、生物の分類について考えている場面です。会話文と資料をよく読み、問いに答えなさい。

先生：みなさん、今日は「生き物の分類」について考えていきましょう。まずはこの資料を見てください。

【資料1：分類Ⅰ～Ⅲ】

分類Ⅰ

グループX：オオカマキリ、カブトムシ、シオカラトンボ

グループY：モンシロチョウ、テントウムシ

分類Ⅱ

グループA：タンポポ、コスモス、カタバミ

グループB：サクラ、カキ、ツバキ

分類Ⅲ

グループM：メダカ、ザリガニ、アオミドロ

グループN：タンポポ、ミツバチ

ユウタ：分類ⅠのXとYは、見た目はどれも昆虫だけど、何か違うところがあるね。

リョウコ：あつ、資料2を見ると、成虫が見られる季節がちがうよ！

先生：そのとおり。では資料2もよく読んで、どんな観点で分けたのか、言葉で説明してみましょう。

【資料2：生き物の情報】

生物名	特徴・生活のしかた
オオカマキリ	夏～秋に成虫が見られる。肉食。
カブトムシ	夏に成虫が見られる。完全変態。
シオカラトンボ	夏に成虫が見られる。幼虫は水中で生活。
モンシロチョウ	春に成虫が見られる。完全変態。
テントウムシ	春に成虫が見られる。小さな虫を食べる。
タンポポ	草の植物。道ばたに生える。
コスモス	草の植物。秋に花をつける。
カタバミ	草の植物。春～夏に花をつける。
サクラ	木の植物。春に花が咲く。
カキ	木の植物。秋に実がなる。
ツバキ	木の植物。冬～春に花が咲く。
メダカ	水中で生活する。卵でふえる。
ザリガニ	水中で生活する。雑食性。
アオミドロ	水中に育つ藻の仲間。光合成をする。
ミツバチ	陸上にすむ昆虫。花の蜜を集める。

問1 分類Ⅰでは、どのような観点でグループ分けをしたと考えられますか。

問2 アブラゼミを分類Ⅰと同じ観点でグループ分けしたとき、グループXとYのどちらに入りますか。

問3 グループXのうち、カブトムシだけに当てはまる特徴を次の中から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 足の本数が6本である
- イ さなぎになる時期がある
- ウ 幼虫は水中で生活する
- エ 小さな虫を食べる

問4 分類ⅡでタンボボがグループAに入っているのはなぜですか。資料2の言葉を使って説明しなさい。

問5 分類Ⅲでは、どんな観点でグループを分けたと考えられますか。最も適切なものを次の中から選び、記号で答えなさい。

- ア 植物か動物かで分けている
- イ 卵でふえるか、子でふえるかで分けている
- ウ 花が咲くか咲かないかで分けている
- エ 生活する場所が水中か陸上かで分けている

3 ある問題の解法について、リツ君とショウ君が考えています。問題と会話文を読み、問いに答えなさい。

問題 ある学校に1から300までの番号がふられたロッカーが1列に並んでいます。まず最初にやってきた生徒が1番から300番までのすべてのロッカーの扉を開けていきました。次に2番目にやってきた生徒は、偶数番目のロッカーの扉だけ閉じていきました。次に3番目にやってきた生徒は、3の倍数の番号のロッカーのうち、扉が開いているものは閉め、閉じているものは開けていきました。次に4番目にやってきた生徒は、4の倍数の番号のロッカーのうち、扉が開いているものは閉め、閉じているものは開けていきました。これと同じことが300番目の生徒までつづけられました。さて、300番目の生徒が開け閉めしたあと、扉が開いているロッカーは何個あるでしょうか？

リツ君：問題の意味はなんとなくわかったけど、どこから考えていけばいいのかな。

ショウ君：難しいね。ロッカーの数が多すぎて、イメージがわからないから、まずは30番のロッカーまでで考えてみようよ。

リツ君：了解。まず最初の生徒が、全部のロッカーの扉を開けているから、2番目の生徒は、偶数番目のロッカーの扉だけを閉めてるよね。

ショウ君：そうだね。ということは奇数番目のロッカーの扉は全部開いたままってことになるよね。

リツ君：うん。そして3番目の生徒が3の倍数のロッカーの扉を開け閉めしているから、具体的に考えると…3番のロッカーの扉は閉めて、6番のロッカーの扉は開けて、9番のロッカーの扉は閉めて、12番のロッカーの扉は開けて…30番のロッカーの扉は開けているね。

ショウ君：あっ！ということは（ア）番のロッカーはもう閉まることはないね。

リツ君：確かに。もう（ア）番のロッカーを開け閉めできる生徒はいないね。でも、まだ答えにたどりつく気がしないな。

ショウ君：じゃあ、4番目の生徒を考えてみようよ。4番目の生徒は4番のロッカーの扉を開けて、8番のロッカーの扉も開けて、12番のロッカーの扉は閉めて…28番のロッカーの扉は開けているね。あれ、規則性が見えないな。

リツ君：このままだと答えが出なさそうだから、先生にヒントをもらおう。

先生：この問題はね、開け閉めしている生徒を中心に考えていると難しいんだよ。1つのロッカーの開け閉めについて考えてごらん。

例えば、3番のロッカーの扉を開け閉めできる生徒は何番目の生徒だろう？

リツ君：1番目と3番目の生徒です。

先生：そうだよね。じゃあ12番のロッカーの扉を開け閉めできる生徒は何番目の生徒かな。

ショウ君：えっと、1番目と2番目、3番目、4番目、6番目、12番目の生徒かな。

先生：正解。どう？ 今ショウ君が言った数字に注目してみようよ。

ショウ君：なるほど。今言った番号は12の（イ）だから、（イ）に注目すれば答えが出そうだ。

問1 会話文のアに入る数字を答えなさい。

問2 会話文のイに入る言葉を次の語群から選びなさい。

素数 倍数 約数 最大公約数 最小公倍数

問3 240番のロッカーを開け閉めできる生徒は何番目にきた生徒ですか。全て数字で答えなさい。

問4 最初の生徒がすべてのロッカーの扉を開けて、30番目の生徒が開け閉めしたあと、開いているロッカーの番号を全て書きなさい。

問5 300番目の生徒が開け閉めしたあと、開いているロッカーは何個あるか説明しなさい。